

阿波市立林小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習意欲の向上と「自ら考える力」「かかわる力」「やりぬく力」の育成
- 基礎・基本の定着と活用する力の育成

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や研修における報告・情報共有等、様々な機会を捉えて取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○漢字や計算練習に繰り返し取り組むなど、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるために努力できる。</p> <p>●長い文章を正確に読み取ったり、知識等と関連付けて読み深めたりすることに課題がある。</p> <p>●既習漢字の積極的な活用や、考えをよりよく伝えるための語彙力に課題がある。</p>	<p>・学習規律を身につけ、知識や技能の習得に集中して取り組むことができる。</p> <p>・漢字や計算などの学習を支える基礎的・基本的な技能を身につけている。</p> <p>・グラフや図、文章等を正確に捉え、情報を読み取ったり、比較・関連付けたりすることができる。</p> <p>・日記やノート等を書く際に、既習漢字を積極的に使って書くことができる。</p>	<p>・林小学校「学びのスタンダード」の再設定を全教職員で協働して進めるとともに、学校全体で共通理解した取組を実践する。</p> <p>・基礎的・基本的な知識及び技能の向上を図るために、読書タイムやチャレンジ学習の時間を有効活用する。</p> <p>・「徳島版読解力」を生かした授業づくりのために、校内研修の工夫と機会を増やす。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○ペアやグループ等の少人数の話し合い活動では、自分なりの言葉で考えを伝えることができる。</p> <p>●課題解決に必要な情報等を選択し、自分の考えをまとめたり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。</p>	<p>・自分の意見や考えを根拠を明らかにして話したり、まとめたりできる。</p> <p>・自ら課題を設定し、課題解決に向けた流れや方法を模索し、必要に応じて話し合い活動等を活用することができる。</p> <p>・習得、活用、探究の流れを大切に、自分の考えをもったり、他者の考えと比較したりしながら学びを深めることができる。</p>	<p>・例文を提示したり、隣同士で意見交換することで自分の考えを整理したりして、根拠を明らかにして伝えることができるようにする。</p> <p>・自らの課題設定に向けて、選択肢の中から課題を設定することから始め、自ら課題設定できるようにする。</p> <p>・作文を書く際には、テーマをしばったり、読み手を意識させたりするなど指導を充実させる。また、系統的に指導し、書く時間を十分に確保する。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業に真面目に取り組む、与えられた課題に懸命に取り組むことができる。</p> <p>●自分の考えを客観的に捉えたり、不得意な学習内容を計画的に取り組む克服したりすることに課題がある。</p> <p>●自ら課題を見つけて工夫して解決したり、粘り強く課題解決に取り組んだりすることに課題がある。</p>	<p>・学習用具の準備や学習に対する心構えなど、基本的な学習スタイルを身につけ、集中して学習に取り組むことができる。</p> <p>・「わかった」「できた」を重ね、学ぶ楽しさや喜びを実感し、自ら成長していきたいと主体的に自信を持って学習に取り組むことができる。</p>	<p>・「日付・ページ→めあて→自分・友だちの考え→まとめ→振り返り」という一連の流れを定着させたノート指導を充実させる。</p> <p>・児童のよくまとめられたノートや自主学習を掲示したり、「校内自主学習コンテスト」を実施したりする。</p> <p>・異学年交流(ペア読書・学習成果の発表)を実施し、表現活動の機会を増やすことで、相手意識や目的意識をもって課題に取り組めるようにする。</p>			